

(2016年度)

3 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は22ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、試験監督者から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけたりしてはならない。また、マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の文章(I, II)を読み、問(1~14)に答えなさい。

I 十字軍の発端は、11世紀に東地中海沿岸に進出し、聖地イエルサレムを支配下においたセルジューク朝の脅威を感じたビザンツ皇帝が、時のローマ教皇に救援を求めたことであった。これを受けて、教皇は、宗教(教会)会議を招集し、すべてのキリスト教徒に対して十字軍への参加を呼びかけた。しかし、そこには異教徒からの聖地奪還ばかりでなく、西ヨーロッパにおける教皇権の強化や、教皇による東西教会の統一という目論見もあったと考えられる。

十字軍は1096年から1099年にかけての第1回を端緒に、1270年まで7回にわたって行われたが、第1回の成功後はその大義を失い、聖地回復の目的も結局果たされないまま終わった。

問1 下線部(ア)に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。選択肢(a~d)から1つ選びなさい。

- a スナナ派の王朝であった。
- b 主要都市にニザーミーヤ学院を建設した。
- c マムルークを採用した。
- d サーマーン朝を滅ぼして建国された。

問2 下線部(イ)の教皇としてもっとも適切な人物を、選択肢(a~d)から1人選びなさい。

- a インノケンティウス3世 b ウルバヌス2世
- c グレゴリウス7世 d クレメンス5世

問3 下線部(ウ)の宗教(教会)会議が開かれた場所はどこか。選択肢(a~d)から1つ選びなさい。

- a クレルモン b クリュニー c コンスタンツ
- d トリエント

問4 下線部(エ)に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ポニファティウス8世は、聖職者への課税をめぐる問題によってフィリップ4世に捕われた。
- b ピピンはランゴバルド王国から奪った領土をグレゴリウス1世に寄進した。
- c 教皇グレゴリウス7世と神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世は叙任権をめぐる争いで対立した。
- d ウィクリフは教皇の権威を否定し、信仰における聖書の重要性を強調してその英訳を行った。

問5 下線部(カ)に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

- a 「カトリック」とは「普遍的」を意味するラテン語が起源である。
- b ベネディクトゥスはシトー修道会を設立した。
- c ビザンツ皇帝レオン3世は726年に聖像禁止令を發布した。
- d 聖像崇拜論争と単性論をめぐる対立は、東西教会の溝を深めた。
- e 東西教会は相互に破門して1054年に分裂した。

問6 下線部(ク)に関して、第1回に参加した人物を以下の選択肢(a～d)から1人選びなさい。

- a 神聖ローマ皇帝フリードリヒ1世
- b イギリス王リチャード1世
- c フランス王フィリップ2世
- d ロレーヌ公ゴドフロワ

問7 下線部(キ)に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。選択肢(a～e)の中から2つ選びなさい。

- a アッコンはパレスチナにおける十字軍活動の中心地であった。
- b 第2回十字軍はシリアのイスラーム勢力の攻撃に対して行われた。
- c 第3回十字軍はアイユーブ朝のサラディンと戦った。
- d フランス王ルイ7世は第6回、第7回の十字軍を主導した。
- e 十字軍を支えた三大宗教騎士団のうち、最初に創設されたのはテンプル騎士団である。

問8 下線部(キ)に関して、7回の十字軍遠征が行われた1096年から1270年の間に地中海沿岸地域を支配しなかったイスラームの王朝はどれか。以下の選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

- a アイユーブ朝 b ムラービト朝 c ファーティマ朝
- d トゥールーン朝 e 後ウマイヤ朝

II シチリア島は地中海最大の島であり、地中海のほぼ中央に位置することから、古来、数多くの民族や文明が交錯する場所であった。

東ゲルマン人の一派である(1)は、イベリア半島を経て429年に北アフリカに建国し、シチリア島、サルデーニャ島、コルシカ島も征服して西地中海に覇権を築いた。しかし6世紀に入ると、(2)と同様、ビザンツ皇帝によって滅ぼされた。

以後、シチリア島はビザンツ帝国に統治されていたが、9世紀にはイスラーム勢力の支配下に入った。

その後、ノルマン人がシチリア島を征服し、(3)には(4)が南イタリアとシチリア島とをあわせた王国の初代の王となった。島の西北部の都(5)の宮廷では、イスラームとビザンツ、ラテン化されたノルマンの要素が混交した豊かな文化が開花した。こうしてシチリア島は、イベリア半島の(6)と並んで、ギリシア語やアラビア語からラテン語への翻訳作業の中心地となり、12世紀における西ヨーロッパ文化の復興運動に貢献したのである。

問9 空欄(1～6)に入るもっとも適切な語を、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a 西ゴート人 b 東ゴート人 c ヴァンダル人
d アヴァール人
- (2) a 西ゴート王国 b 東ゴート王国 c ランゴバルド王国
d ブルグンド王国
- (3) a 1090年 b 1130年 c 1160年 d 1190年
- (4) a ウィリアム1世 b ジョアン2世 c ルッジェーロ1世
d ルッジェーロ2世
- (5) a サレルノ b シラクサ c タレントゥム d パレルモ
- (6) a セビリャ b コルドバ c グラナダ d トレド

問10 下線部(ク)のビザンツ皇帝に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ラヴェンナにはこの皇帝の姿を描いたモザイク壁画が遺されている。
- b 中国から養蚕技術を取り入れて、絹織物産業の発展を促した。
- c その治世下で公用語がラテン語からギリシア語になった。
- d トリボニアヌスらに命じて「ローマ法大全」を編纂させた。

問11 下線部(ケ)の時代の西ヨーロッパに関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

- a リューリク率いるノルマン人がノヴゴロド国を建国した。
- b 『ベリー公の豪華時局書』が作られた。
- c ノルマン人のアイスランドへの移住が始まった。
- d イングランド王アルフレッド大王がデーン人の侵入を撃退した。
- e ユーグ=カペーによりカペー朝が開かれた。

問12 下線部(㉑)に関する以下の記述のうち、誤っているのはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a シュタウフェン朝が中央集権化を推進した。
- b 島民の反乱によってシチリア王国とナポリ王国に分裂した。
- c 15世紀にイベリア半島のカステイリヤ王国によってナポリ王国と再統合された。
- d フランスのアンジュー家の支配を受けた。

問13 下線部(㉒)に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

- a 五賢帝の一人、トラヤヌス帝の出身地である。
- b ドミニコ修道会の創設者ドミニコの出身地である。
- c 使徒ペテロの墓が発見されたという町が、11世紀以降多くの巡礼者を集めた。
- d 13世紀にポルトガルが独立の王国となった。
- e 14世紀にスペイン(イスパニア)王国が成立した。

問14 下線部(㉓)に関連して、12世紀のヨーロッパで起きたことはどれか。選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

- a パリ大学を模範としてオクスフォード大学が創設された。
- b ピサ大聖堂やケルン大聖堂が建てられた。
- c 『カンタベリ物語』が著された。
- d クリュニー修道院が設立された。
- e 唯名論で知られるアベラールが活動した。

2 ドイツ史に関する問(1～15)の答としてもっとも適切なものを、それぞれの選択肢(a～d)から、指定されている数だけ選びなさい。

問1 ドイツの源流とされる東フランク王国に関する文として、正しいものを1つ選びなさい。

- a フランク王国が三分割されて東フランク王国が成立するのは、カール大帝(シャルルマーニュ)の死後100年もたたないうちである。
- b 初代の東フランク国王は、ロタール1世であった。
- c 東フランクは、当初メロヴィング朝が支配した。
- d 東フランクでは、11世紀に、選挙によりザクセン朝が成立した。

問2 神聖ローマ帝国やその皇帝に関する文として、正しいものを2つ選びなさい。

- a オットー1世の戴冠により東フランク王国は帝国になった。これが神聖ローマ帝国の起源である。
- b 神聖ローマ帝国という呼称は、13世紀から用いられるようになった。
- c 皇帝フリードリヒ2世は、第3回十字軍に参加して活躍した。
- d 神聖ローマ皇帝の位は14世紀以降、ハプスブルク家が世襲した。

問3 ドイツ騎士団に関する文として、誤っているものを1つ選びなさい。

- a ドイツ騎士団は、宗教騎士団で、イェルサレムで結成された。
- b ドイツ騎士団は、13世紀からエルベ川以東の植民活動に重点を置いた。
- c ドイツ騎士団は、バルト海沿岸へ植民し、スラヴ人のキリスト教化を進めた。
- d ドイツ騎士団領から、のちのプロイセン領が形成された。

- 問4 ルターの宗教改革に関する文として、誤っているものを1つ選びなさい。
- a ルターは1517年にヴィッテンベルクで九十五カ条の論題を発表し、カトリック教会による贖宥状の販売を批判した。
 - b 贖宥状の販売は、教皇レオ10世が、出身地ミラノの大聖堂の再建資金を集めるために、許可していた。
 - c ルターは、人の救いを信仰のみにおく立場から、贖宥状を買えば贖罪の行為が免除され、罰が許されるという考えを、強く批判した。
 - d 当時の神聖ローマ帝国は分裂状態にあつて抵抗力が弱いため、さかんに贖宥状が販売され、「ローマの牝牛」とからかわれていた。

- 問5 ルターの宗教改革に関する文として、正しいものを2つ選びなさい。
- a 神聖ローマ皇帝カール5世は、ルターをアーヘンの帝国議会に呼び出して、説の撤回を求めたが、ルターは拒否した。
 - b ルターは帝国追放処分を受けたが、ザクセン選帝侯ハインリヒによってかくまわれ、ここで『新約聖書』のドイツ語訳を完成させた。
 - c ルターのドイツ語訳聖書は、一般信徒への聖書の普及を促進し、近代ドイツ語の確立に貢献した。
 - d ルターの教えは、新技術である活版印刷や版画によって広まった。その点で、宗教改革は「メディア革命の副産物」とも言えた。

- 問6 宗教改革の進展に関する文として、正しいものを1つ選びなさい。
- a ルターの教えに触発されて、1524年に西南ドイツで大規模なドイツ農民戦争が起こると、ルターはこれを最後まで支持した。
 - b 皇帝カール5世は、オスマン帝国のウィーン包囲という外交・軍事上の危機に面しても、ルター派を一度として認めなかった。
 - c 新教派の諸侯と帝国都市は、シュマルカルデン同盟を結んで皇帝と戦った。
 - d 新旧両派の対立を取捨するために結ばれたアウクスブルクの和議で、個人の信仰の自由が認められた。

問7 三十年戦争に関する文として、正しいものを1つ選びなさい。

- a 三十年戦争は、ベーメン(ボヘミア)の新王が、カトリックを強制したため、当地の新教徒が反乱を起こしたことから始まった。
- b 三十年戦争では、スペイン・フランスがカトリック側に、デンマーク・スウェーデンが新教側にたって参戦した。
- c 三十年戦争で、^{よう}傭兵隊長のヴァレンシュタインは、新教側について戦った。
- d 三十年戦争の講和条約は、オランダのウェストファリアで結ばれ、神聖ローマ帝国の有名無実化を決定づけた。

問8 プロイセンに関する文として、誤っているものを1つ選びなさい。

- a ホーエンツォレルン家のブランデンブルク選帝侯が、17世紀前半に、プロイセン公国を相続した。
- b プロイセン公国は、スペイン継承戦争で神聖ローマ皇帝を助け、18世紀初頭に王国へと昇格した。
- c プロイセン王国は、兵隊王といわれるフリードリヒ1世のもとで、軍隊や官僚制を整備した。
- d 啓蒙専制君主といわれるフリードリヒ2世は、戦争によってシュレジエンを獲得した。

問9 ナポレオン戦争時代のドイツに関する文として、誤っているものを2つ選びなさい。

- a アウステルリッツの三帝会戦で、アレクサンドル2世のロシア軍とフランツ1世のオーストリア軍の連合軍は、ナポレオンのフランス軍に敗北した。
- b ナポレオンの保護下に、西南ドイツ諸邦は、ライン同盟を結成し、フランスに対して軍隊を提供した。
- c ライン同盟を結成した西南ドイツ諸邦が離脱したため、神聖ローマ帝国は1804年に消滅した。
- d イエナ＝アウエルシュテットの戦いでフランス軍に大敗したプロイセンでは、シュタインとハルデンベルクのもとで内政改革が進められた。

問10 ウィーン体制下のドイツに関する文として、正しいものを2つ選びなさい。

- a ドイツ語圏の旧神聖ローマ帝国領域は、ドイツ連邦に再編された。
- b ドイツ連邦は、50あまりの君主国からなっていた。
- c ドイツ連邦では、オーストリアが議長国となった。
- d ドイツ連邦は1848年革命で消滅した。

問11 フランス革命からドイツに波及した自由主義に関する文として、誤っているものを1つ選びなさい。

- a ウィーン体制下のドイツの自由主義運動は、1810年代にブルシェンシャフト運動として現れた。
- b ウィーン体制下のドイツでは、国内体制の「自由化」(立憲化など)と「ドイツ統一」という二つの課題があった。
- c 七月革命の影響を受けて、1834年にドイツ各地で、憲法制定を求める六月蜂起が起こった。
- d 1848年、フランクフルト国民議会が開かれ、憲法制定とドイツ統一の問題が討議された。

問12 ドイツ統一構想に関する文として、誤っているものを1つ選びなさい。

- a 大ドイツ主義と小ドイツ主義の対立の裏には、プロイセンとオーストリアの主導権争いがあった。
- b 小ドイツ主義は、オーストリアを排除したドイツ統一構想である。
- c 大ドイツ主義は、オーストリア全土を含む統一構想である。
- d フランクフルト国民議会では、小ドイツ主義が採択された。

問13 ドイツ統一の過程に関する文として、誤っているものを1つ選びなさい。

- a ドイツ統一過程における戦争は、デンマークに対して、プロイセンとオーストリアが共闘して戦ったデンマーク戦争から始まる。
- b プロイセン=オーストリア(普墺)戦争は、プロイセンがわずか一週間で圧勝したので、六日間戦争という。
- c プロイセン=オーストリア戦争後、北ドイツ連邦が結成された。
- d プロイセンは、1870~71年のプロイセン=フランス(普仏)戦争で勝利し、ドイツ統一を達成した。

問14 19世紀後半のドイツ統一の際の国境の確定によって、国境外にすむドイツ民族や、国内の非ドイツ人が少数民族として認識されるようになった。この少数民族問題に関する文として、誤っているものを2つ選びなさい。

- a ドイツ統一ではじき出されたオーストリアから、後年、過激なドイツ民族主義者も出た。ヒトラーもその一人である。
- b ドイツ帝国時代、ホルシュタイン地方ではオランダの方がドイツ人より多く住んでいた。
- c ドイツ帝国時代、プロイセン東部にはポーランド人が多く住み、カトリックの彼らは差別されていた。
- d アルザスは、フランス語圏に属しているが、19世紀後半のドイツ統一でドイツ領となり、今日に至っている。

問15 第一次世界大戦以後の状況に関する文として、誤っているものを2つ選びなさい。

- a 第一次世界大戦後、ドイツ民族の小国になったオーストリアは、ドイツとの合併を希望したが、それはサン＝ジェルマン条約によって禁止された。
- b ヴェルサイユ条約により軍備制限や国土削減を強いられたドイツは、賠償金支払いが免除されたにもかかわらず、ヴェルサイユ体制打破を強く望んだ。
- c ドイツ人の民族自決権を論拠にして、ヒトラーは1938年に、オーストリア合併・ズデーテン地方割譲・チェコ併合の3つを断行した。
- d ナチス・ドイツは、民族的・人種的階層秩序を想定し、その階層秩序で最下位に位置するユダヤ人を、第二次世界大戦中に大量に殺害した。

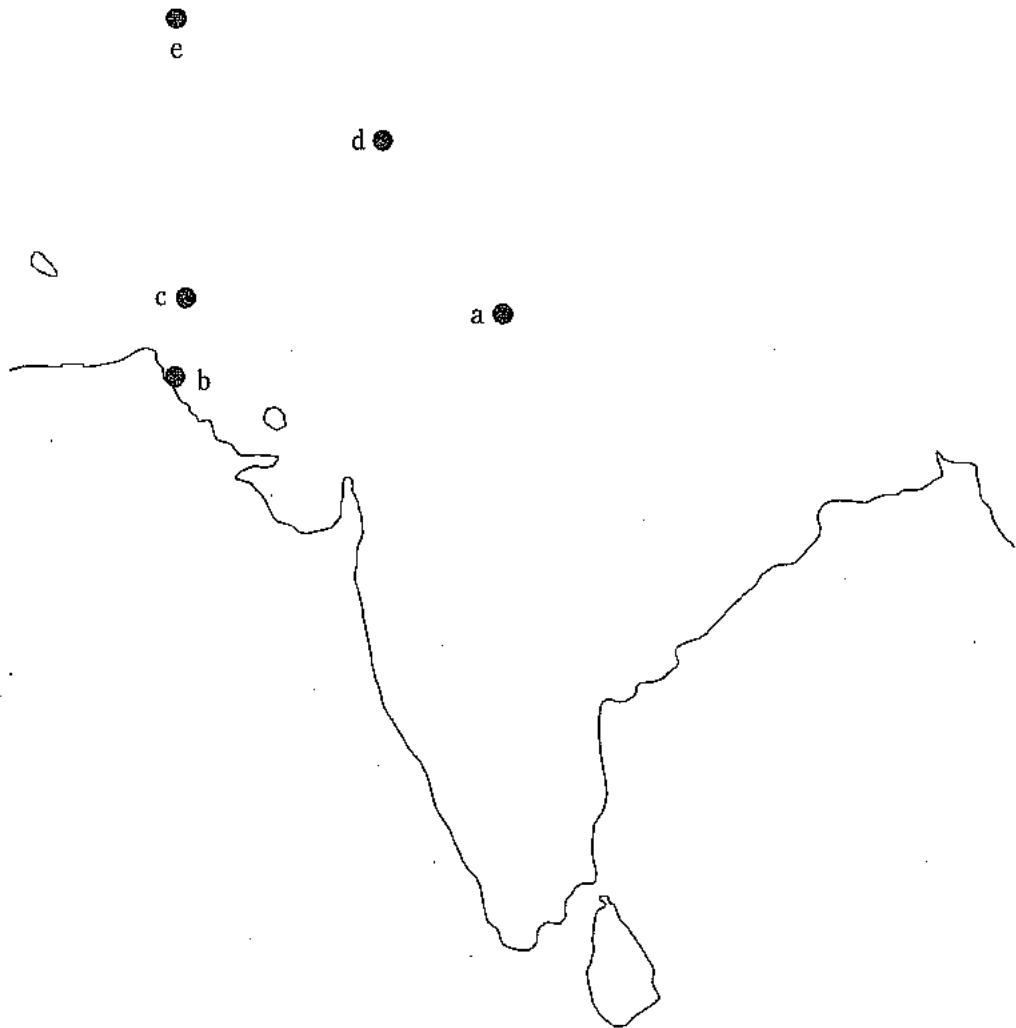
3 南アジア・東南アジアに関する次の文章(I～III)を読んで、問(1～9)に答えなさい。解答はもっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

I この文明は西北インドのパンジャーブ地方を中心に栄えた都市文明である。同一規格の焼煉瓦でつくられた住宅・倉庫・排水溝などの遺跡を特徴とし、それらの遺跡からは金属製品、青銅器、印章等が出土している。

問1 Iの文明の説明として誤っているものはどれか。

- a 大規模な宮殿や陵墓はない。
- b ローマからもたらされた金で金貨を発行した。
- c 印章にはドラヴィダ系のインダス文字が刻まれている。
- d メソポタミア地域と盛んな交易があった。
- e 滅亡の要因のひとつとして大洪水・塩害などの自然的要因が考えられる。

問2 Iの文明を代表する遺跡であるモエンジョ=ダーロの場所はどこか。地図中の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。



問3 紀元前1500年頃、カイバル峠をこえてパンジャーブ地方へ移動したインド

= ヨーロッパ語系民族はどれか。

- a アーリア人
- b シャカ族
- c サカ族
- d ドラヴィダ系民族
- e クシャーン人

問4 問3の解答となる民族の説明として誤っているものはどれか。

- a 戦車を駆使し先住農民を征服した。
- b 元来は遊牧生活を送る牧畜民だった。
- c ガンジス川流域に進出し、稲作を開始した。
- d ヴァルナを否定した。
- e 雷・火・風などの自然現象を神として崇拝した。

問5 問3の解答となる民族の宗教に関する説明として正しいものはどれか。

- a ナーナクがシク教を創始した。
- b ヴァルダマーナがジャイナ教を創始した。
- c 竜樹が大乗仏教を理論化した。
- d バクティ運動が北インドに波及した。
- e 神々への讃歌を集めた『リグ=ヴェーダ』が編纂された。

II 東南アジア大陸部は河川を通じて中国青銅器文化の影響を受けたと考えられている。雲南を起点とした文化は紅河沿いに広がり、ベトナム北部の青銅器・鉄器文化を生み出した。

問6 下線部の文化と、その代表的な物質文化の組み合わせとして正しいものは次のどれか。

- a オケオ・ローマ金貨
- b ピュー・銀貨
- c ドンソン・銅鼓
- d 三星堆・縦目仮面
- e ドヴァーラヴァティー・仏教彫刻

問7 下線部の文化の説明として正しいものは次のどれか。

- a 9世紀南詔に攻撃され急速に衰退した。
- b 13世紀末元軍の攻撃を受けて衰退した。
- c 上座部仏教の独自の美術が展開した。
- d 水稲耕作を基盤とした社会を形成した。
- e ダウ船を用いて海上交易をおこなった。

問8 下線部の文化期には既に、季節風を利用した東西交易が機能していたとされる。交易の隆盛を背景に、1世紀メコン=デルタに成立した国家はどれか。

- a 林邑
- b 交趾
- c 扶南
- d 真臘
- e 室利仏逝

Ⅲ 第二次世界大戦後、それまで日本の占領下にあった東南アジア諸国は独立の動きを見せ始める。しかし独立に至る過程は、旧植民地の構造及び戦後の冷戦体制の影響を受けた「代理戦争」とも呼べる苛酷なものであった。ベトナムでは1945年8月19日にベトナム独立同盟が一斉蜂起し(1)の建国を宣言すると、再植民地化をめざした旧宗主国の(2)との間で戦争が勃発した。(3)年ベトナムは(2)との戦いに勝利し、これ以降ベトナムは南北に分断されることとなる。アメリカ合衆国は南ベトナムの(4)を支援し、やがて共産主義勢力拡大を恐れ、北ベトナムへの爆撃を(5)年開始した。この戦争の激化は(6)も戦禍に巻き込んだ。(6)では親米派がクーデー

ターを起こし、(7)を追放した。同国で1975年には(8)の支援を受けたポル＝ポト派が政権を握り、極端な共産主義政策による強制移住や大虐殺をおこなった。ポル＝ポト派政権は1979年にベトナム軍の侵攻により首都を放棄した。(8)は制裁を名目としてベトナムへ侵入し(9)が起こった。

問9 空欄(1～9)に入る語句としてもっとも適切なものを、選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- (1) a ベトナム国 b ベトナム社会主義共和国
c 南ベトナム解放民族戦線 d ベトナム民主共和国
e ベトナム共和国
- (2) a イギリス b フランス c アメリカ合衆国
d ソ連 e 中国
- (3) a 1950 b 1954 c 1958 d 1962 e 1966
- (4) a ベトナム国 b ベトナム社会主義共和国
c 南ベトナム解放民族戦線 d ベトナム民主共和国
e ベトナム共和国
- (5) a 1950 b 1955 c 1960 d 1965 e 1970
- (6) a フィリピン b マレーシア c カンボジア d ラオス
e タイ
- (7) a ネルー b シハヌーク c リー＝クアンユ d スハルト
e ネ＝ウイン
- (8) a イギリス b フランス c アメリカ合衆国 d ソ連
e 中国
- (9) a 中越戦争 b インドシナ戦争 c 中ソ国境紛争
d サイゴン攻略 e 9・30事件

4 次の史料①～⑥を読み、以下の問(1～15)に対して、答えを選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。ただし、問7は複数選択が可能である。

① 帝国政府ハ南京攻略後尚ホ支那国民政府ノ反省ニ最後ノ機会ヲ与フルタメ今日ニ及ヘリ。然ルニ国民政府ハ帝国ノ真意ヲ解セス漫リニ抗戦ヲ策シ、内民人塗炭ノ苦ミヲ察セス、外東亞全局ノ和平ヲ顧ミル所ナシ。仍テ帝国政府ハ爾後国民政府ヲ對手トセス、帝国ト真ニ提携スルニ足ル新興支那政權ノ成立発展ヲ期待シ、是ト両国国交ヲ調整シテ更生新支那ノ建設ニ協力セントス。

② 第一号・第一条 支那国政府ハ独逸国カ山東省ニ関シ条約其他ニ依リ支那国ニ対シテ有スル一切ノ權利利益讓与等ノ処分ニ付日本国政府カ独逸国政府ト協定スヘキ一切ノ事項ヲ承認スヘキコトヲ約ス
第五号・一、中央政府ニ政治財政及軍事顧問トシテ有力ナル日本人ヲ僱聘セシムルコト

③ 一、 われわれ、アメリカ合衆国大統領、中華民国総統ならびに英国首相は、数億人の国民を代表して協議し、日本に戦争を終結する機会を与えることに同意した。(中略)

五、 われわれの条件は以下の通りである。われわれはそこから逸脱することはない。いかなる代案もありえない。われわれは決して遅滞を許さない。

六、 日本国民を世界征服に着手するよう欺き、誤り導いた人々の権力と影響力は永遠に排除されなければならない。無責任な軍国主義が世界から放逐されるまで平和、安全、正義をもたらす新しい秩序の樹立は不可能であるとわれわれは主張するからである。

七、 このような新秩序が確立され、日本の戦争遂行能力が破壊されたという確証が提示されるまで、連合国が指定する日本領土内の諸地域が、われわれがここに記す基本的な目的を達成するため占領下に置かれるものとする。

一三、 われわれは日本政府に対して、ただちに全日本軍の無条件降伏を宣

言し、そうした行為を誠実に遂行する、適切かつ十全に保証された措置をとることを要求する。日本にとってそれ以外の選択肢は迅速かつ完膚なき破壊のみである。

④ 第一条 中国以外の締約国は、以下に同意する。

- (1) 中国の主権、独立、領土的ならびに行政的保全を尊重すること。
- (2) 中国に対して効率的かつ安定した政府の確立、維持に最大限の支障のない機会を提供すること。
- (3) 中国全域で、すべての国民が通商と産業に関する機会均等の原則を効果的に樹立し維持するために影響力を行使すること。
- (4) 友好国の臣民ないし市民の権利を滅殺するような特別の権利や特権を追求するために、中国における情勢を利用することや友好国の安全に有害となる行為を容認することを慎むこと。

第二条 締約国は、第一条に規定された諸原則を侵害ないし損なういかなる条約、協定、取り決め、了解にも、他国家と単独あるいは集団であれ、相互に締約しないことを約定する。

⑤ 世界中のあらゆる人々は、実質的に…利害を共にする盟友であり、われわれは他の人々に正義が行われぬ限り、われわれにも正義はなされぬということを明確に認識しています。世界平和の実現のための計画は、したがって、われわれの計画でもあります。そして、われわれの考える唯一可能な計画とは、以下のようなものです。

一、平和の盟約が公開のうちに合意された後は、外交はつねに正直に、公衆の見守る中で進められねばならず、いかなる私的な国際的了解事項もあってはならない。

一四、大国と小国とを問わず、政治的独立と領土的保全とを相互に保障することを目的とした明確な規約のもとに、国家の一般的な連合が樹立されねばならない。

⑥ 第一条 締約国は、国際紛争解決のために戦争に訴えることを非難し、かつ、その相互の関係において国家政策の手段として戦争を放棄することを、その各々の人民の名において厳粛に宣言する。

第二条 締約国は、相互間に発生する紛争または衝突の処理または解決を、その性質または原因の如何を問わず、平和的手段以外で求めないことを約束する。

(以上の史料は、歴史学研究会『世界史史料』第10巻、岩波書店、2006年から抜粋・引用。)

問1 史料①～⑥を時代の古い順に並べ替えると、2番目になるのはどれか。

- a ① b ② c ④ d ⑤ e ⑥

問2 史料①～⑥を時代の古い順に並べ替えると、4番目になるのはどれか。

- a ① b ② c ④ d ⑤ e ⑥

問3 史料①の声明を出した日本の首相は誰か。

- a 東条英機 b 近衛文麿 c 田中義一 d 鈴木貫太郎
e 広田弘毅

問4 史料①が公表された後に起こった出来事はどれか。

- a 西安事件 b 汪兆銘政権の樹立 c 八・一宣言
d 盧溝橋事件 e 日本の国際連盟脱退

問5 史料②について、この要求を提出した当時の日本の首相とこれを受諾した中国の大総統との組み合わせとして正しいものはどれか。

- a 大隈重信—袁世凱 b 大隈重信—段祺瑞 c 原敬—袁世凱
d 寺内正毅—黎元洪 e 西園寺公望—孫文

問6 史料②に関連する説明として誤っているのはどれか。

- a これはイギリスとの同盟関係を口実とした日本の軍事行動の後に提起された。
- b 当時の中国では、これを受諾した5月9日は国恥記念日と呼ばれ、その後の反日運動が広がるきっかけとなった。
- c 日本は、この要求のうち第五号を除外して、その他の項目すべてを中国政府に認めさせた。
- d この日本の要求はいったん中国政府によって受諾されたが、国際社会の強い反発を招き、パリ講和会議では撤回をよぎなくされた。
- e 第一号・第一条の山東省に関する権益は、ワシントン会議において中国側に返還された。

問7 以下の文章のうち、史料③下線部の3人の指導者のいずれにもあてはまらないものをすべて答えなさい。

- a 日本に留学し、士官候補生として日本陸軍の軍事教育を受けたことがある。
- b ギリシア・トルコを援助し、両国の共産主義化を阻止する宣言を公表した。
- c 後進国一国だけでも社会主義建設は可能であると主張し、党内の主導権争いで勝利した。
- d 東西対立の激化を受け、ワシントンで北大西洋条約機構を成立させた。
- e ニューディール政策を実行し、大恐慌を克服した。

問8 史料③が公表されてから日本に受諾されるまでに起こった出来事はどれか。

- a ドイツの無条件降伏
- b ソ連の対日宣戦布告
- c アメリカ軍の沖縄本島上陸
- d 日本本土への空襲開始
- e アメリカの原爆実験成功

問9 史料④の条約を締結していない国はどこか。

- a 日本 b イギリス c ポルトガル d ソ連
- e フランス

問10 史料④の条約の中国に関する内容とほぼ共通する原則を最初に国際社会に向けて提案した人物はだれか。

- a ハル b レーニン c フランクリン＝ローズヴェルト
- d ジョン＝ヘイ e リットン

問11 史料⑤の文書が公表された翌年に中国で起こった出来事を答えなさい。

- a 五・四運動 b 新文化運動の開始 c 三・一独立運動
- d 中国共産党の創設 e 中華革命党の結成

問12 史料⑤の第一四項にもとづいて結成された国際組織の説明として適切なものはどれか。

- a 常任理事国はイギリス・フランス・中国・日本であり、後にドイツ・ソ連も加わった。
- b 原加盟国は51カ国で、ニューヨークに本部がある。
- c 規約に違反した国に対する武力制裁を行うために常設の軍隊が編成された。
- d 世界人権宣言を採択し、各国の内政を監視している。
- e 常設国際司法裁判所を付属機関として設置した。

問13 史料⑥の条約を提案した人物で、アメリカの国務長官であった人物はだれか。

- a ウイルソン b バルフォア c ケロッグ d ランシング
- e ブリアン

問14 史料⑥の条約が調印される前にアジアで起こった出来事を答えなさい。

- a ガンディーの「塩の行進」
- b モンゴル人民共和国の成立
- c 満州国の建設
- d バンドン会議
- e インドシナ共産党の結成

問15 史料⑥の条約が締結された場所はどこか。

- a ロンドン b ニューヨーク c ハーグ d パリ
- e 北京

